

第33巻ティグランドが右を向いていると・・・

ティグランドの向きは、必ずしもカップや、フェアウエイの方を向いているとは限りません。かなりの上級者であっても、ティグランドの前部の縁を基準にして足の位置を決めてアドレスをしまい、目標を確認する人が多く見受けられます。つまり、ティグランドが右向きなら、スタンスも右を向いてしまうのです。当然このスタンスで目標を確認すると足の向きは右方向、肩が目標方向を向いてしまいカット軌道(アウトサイドイン)で振るしかなくボールも右に出て行くのです。

解消方法は？

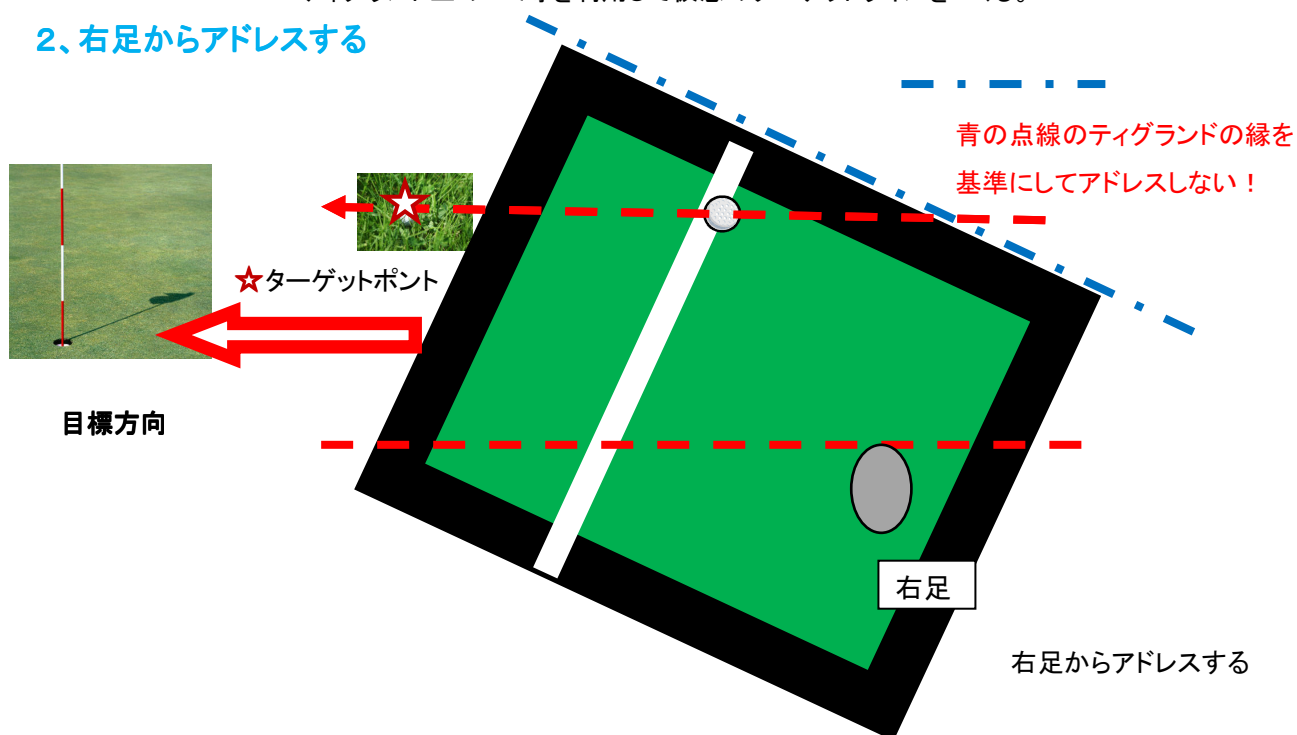
1、アドレスに入る前に必ず、ボール後方に立って目標に対して正確に打つ方向を考える。



☆ → ターゲットポイント

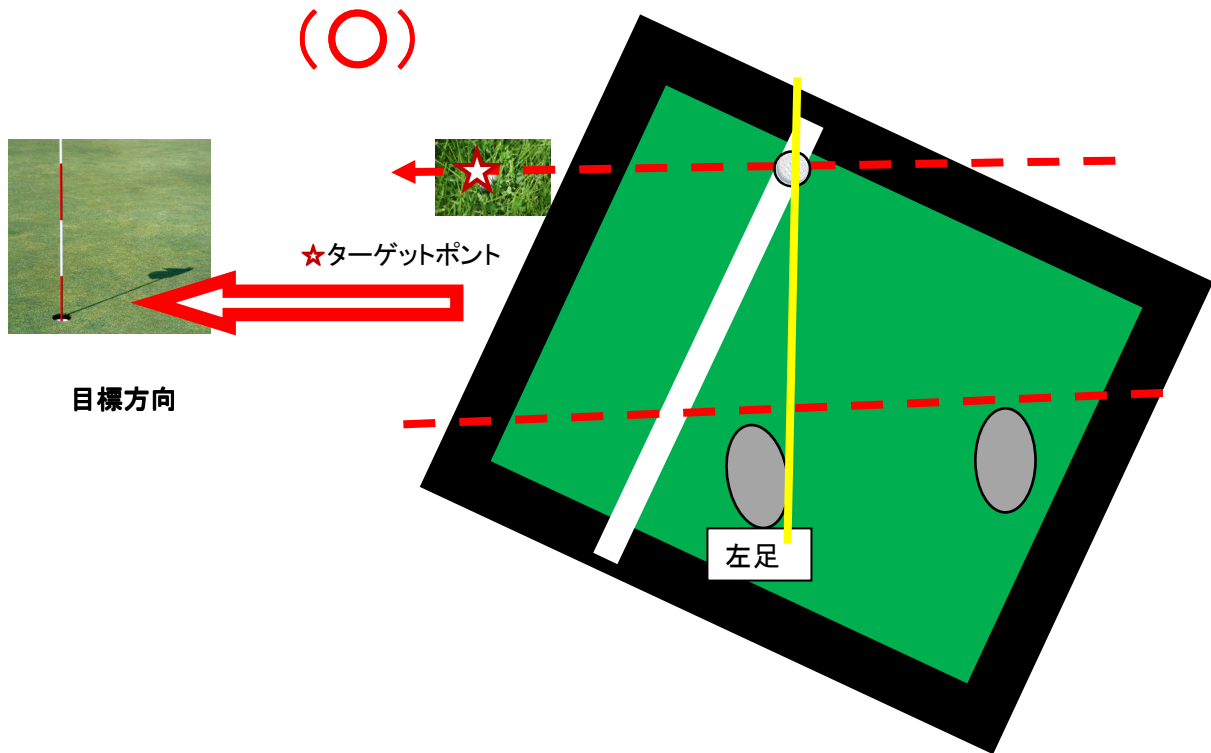
ボールの後方に立って目標を確認し、ティグランド前方の芝目やティグランド上のゴミ等を利用して仮想のターゲットラインをつくる。

2、右足からアドレスする



目標ライン(← - - -)に対して、ボールの後ろにクラブを正しくセットします。ターゲットポイントとボールを結びその延長線後方までを頭に入れ、そのラインに対して右足が垂直になるようにセットします。その時に若干、右足体重で構えましょう。次の左足がセットしやすくなります。

3、次に、左足をセットし、目標方向に対して平行なアドレスを完成させます。



次に左足をセットしますが、右足を軸にし、左足を動かしてスタンスを微調整し、目標方向に平行になるようにセットします。

注意しなければいけないことは、せっきく足のスタンスがスクエア(平行)に構えられたのに、上半身も目標方向に対して、平行に構えられているかどうかです。

1、目線 2、両肩 3、腰 4、膝 5、足 が、目標方向に平行になるように留意ください。

